

お困りではありませんか？ くらしの豆知識 ⑬

◆ネット通販の「ニセモノ」トラブル

ネットで欲しかったブランドのハンドバッグが通常より安い価格だったので、クレジットカード払いで購入を申し込んだが、届いた商品は別のブランドで明らかに偽物であった。改めて確認すると、事業者の住所、電話番号の記載はなく、連絡手段はメールだけだった。



【被害に遭わないために】

ネットによる購入の際に、連絡手段がメールに限られると、トラブルが生じた場合、連絡が途絶えてしまうことがあります。

健康食品・医薬品や化粧品などが「ニセモノ」であった場合、経済的被害だけでなく、健康や身体の安全を損なう可能性があります。

実物を確認できないネット通販では、サイトの作りや記載事項をよく確認することが重要です。不審だと思ふことがあれば取引をやめましょう。「ニセモノ」と知りながら購入することは絶対やめましょう。

消費生活で困ったときは、すぐに消費者センターへ相談してください。

稚内市消費者センター

中央4丁目16番2号
(保健福祉センター2階)
☎ 23 - 4133
平日10時～16時

地域で支えよう！ 「最北の医療」



稚内市内では大きな病院以外に、開業医の皆さんが地域医療に従事されています。身近なかかりつけ医として市民の皆さんの健康を守っている開業医の皆さんをご紹介します。

えきまえ診療所

(中央2・13・13 ☎ 73・6660)

藤川 省三先生(内科)



出身地/佐賀県(以前は長野県で開業)
趣味/木工、園芸、詩歌など

平成25年に稚内で開業された藤川先生。
稚内での生活や医療への考えについて質問しました。

稚内に暮らしてみている印象は？
厳冬期の厳しさは想像以上でした。市民の方は武骨で、口は荒いが、言葉を交わすと気持ちの優しさが伝わってきます。

休みの日はどう過ごしていますか？
水夢館での運動や温泉童夢に行ったり、花の手入れなどをしていきます。

冬に向け健康アドバイスがあれば。
風邪もそうですが、意外に多いのは冬場のやけど。特に子ども。いたるところに危険がいっぱいです。また、高齢者の低温やけどや冬場の心筋梗塞にもご注意ください。

診療を行う上で気を付けていることは？
心を開き、心をもって丁寧に謙虚に、誠実な対応をするということ。常に心の片隅に置くこと、また、医

療の世界は、ほとんどがしっかりと説明されておらず、手探りで診療であるという意識を持つことになっています。

市民の皆さんへのメッセージをお願いします。
医療過疎地域であるからこそ、自分の健康は自分で守るという意識を強くしてください。

薬に頼らない生活をすることも大切。「病は気から」。お茶やコーヒーをゆっくり飲む。好きなものを食べる。空を見上げる。大笑いをしてみるなど、体調が悪い時に試してみるのも一つの方法です。どうぞ気持ちを前向きにお暮しください。
(市地方創生課)

生ごみの分別にご協力をお願いします

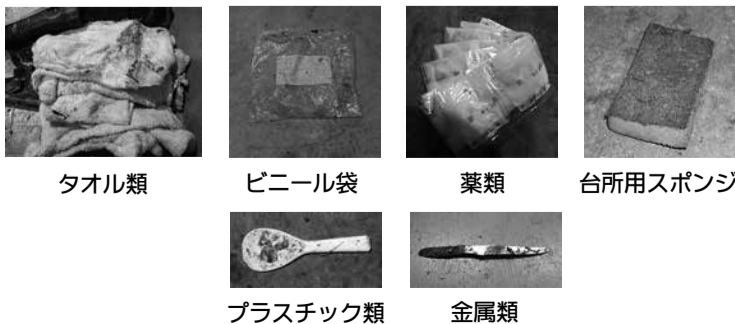


生ごみも大切な資源です！

× 生ごみとして出せないもの

缶、ガラス瓶、容器包装プラスチック、ビニール袋、飲食用の容器、竹串、割りばし、台所用スポンジ、動物の骨類、カニやウニ、エビの殻、貝殻、落ち葉、たばこ、野菜や果物についているシール、オブラート、ペットの糞、紙おむつ、薬類、もみ殻、乾燥材、タオル類等

実際に混入していた不適物



まで生ごみの量を減らすことができました。

回収したバイオガスは...

生ごみから回収したメタンガスは、総ガス量約47万8081Nm³となりました。これは、生ごみ収集車両の燃料、蒸気ボイラ(残渣乾燥用)、ガスエンジン式発電機(施設内電力、

メタン発酵槽の加温用熱源等)のエネルギーとして活用されています。

また、平成27年度は、101.2トンの肥料(バイオマスター)を市民の皆さんへ無償配布しています。問い合わせ先

市くらし環境課廃棄物リサイクル推進グループ
☎ 23・6437

◆平成27年度バイオエネルギーセンター(生ごみ中間処理施設)の運営状況

・搬入実績
平成27年度は、全体で4094トンの生ごみ等の搬入を行い、そのうち処理できない不適物378トンを除いた3716トンからバイオガスを回収しました。

バイオガス回収(中間処理)後の残渣排出量は693トンとなり、18.7%